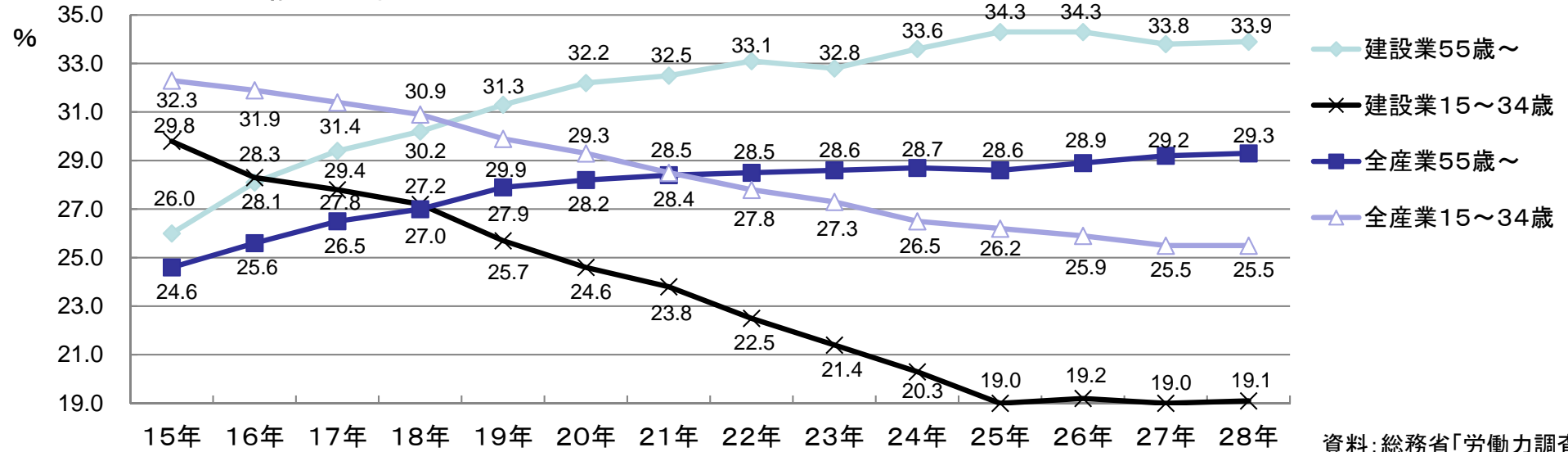


建設業就業者の年齢構成

平成28年における建設業就業者の年齢階層別構成比をみると、55歳以上の割合が33.9%となり、34歳以下の割合は 昨年から微増し19.1%となっている。

就業者の平均年齢では、平成28年の建設業の生産労働者(男)の平均年齢は44.2歳となっており、全産業や製造業に比べ、高齢化が進展。

■ 就業者の年齢構成の推移



■ 就業者の平均年齢の推移

| 区分 年 | 全産業就業者 平均年齢 | 建設業就業者 | | 製造業就業者 | |
|---------|----------------|--------|----------|--------|----------|
| | | 平均年齢 | 生産労働者(男) | 平均年齢 | 生産労働者(男) |
| 23 | 41.5 | 43.9 | 43.5 | 41.6 | 40.4 |
| 24 | 41.7 | 43.8 | 43.5 | 41.9 | 40.5 |
| 25 | 42.0 | 44.4 | 44.1 | 41.8 | 40.4 |
| 26 | 42.1 | 44.4 | 44.1 | 42.1 | 40.7 |
| 27 | 42.3 | 44.0 | 44.0 | 42.3 | 41.0 |
| 28 | 42.2 | 44.2 | 44.8 | 42.2 | 40.9 |

資料: 厚生労働省

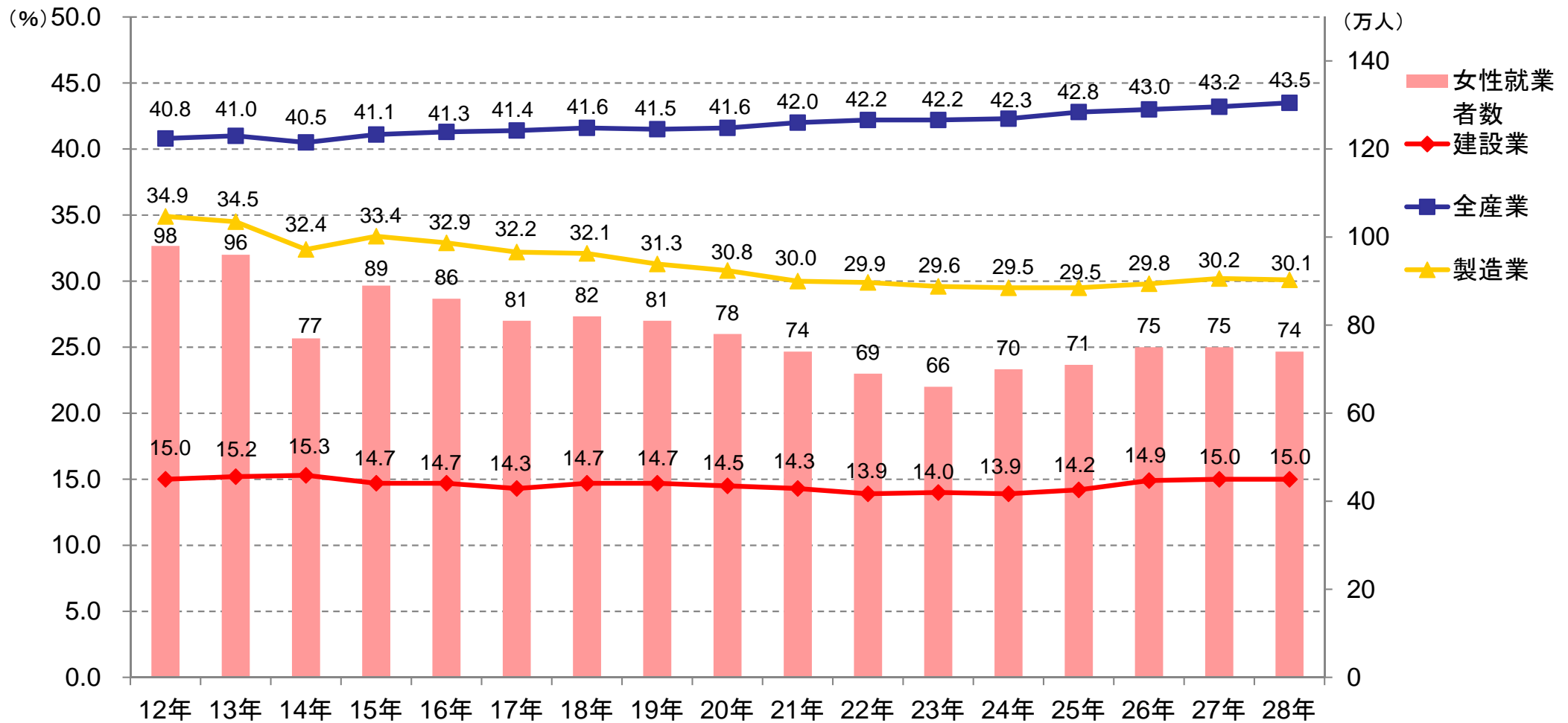
「賃金構造基本統計調査」

注: 企業規模10人以上の事業所

建設業における女性就業者数等の推移

建設業全体の就業者数が減少する中、平成23年より女性就業者数は増加傾向であり、平成28年で74万人となっている。しかし、女性就業者の比率は全産業や製造業に比較すると、依然として低い状況。

■ 建設業の女性就業者の比率の推移

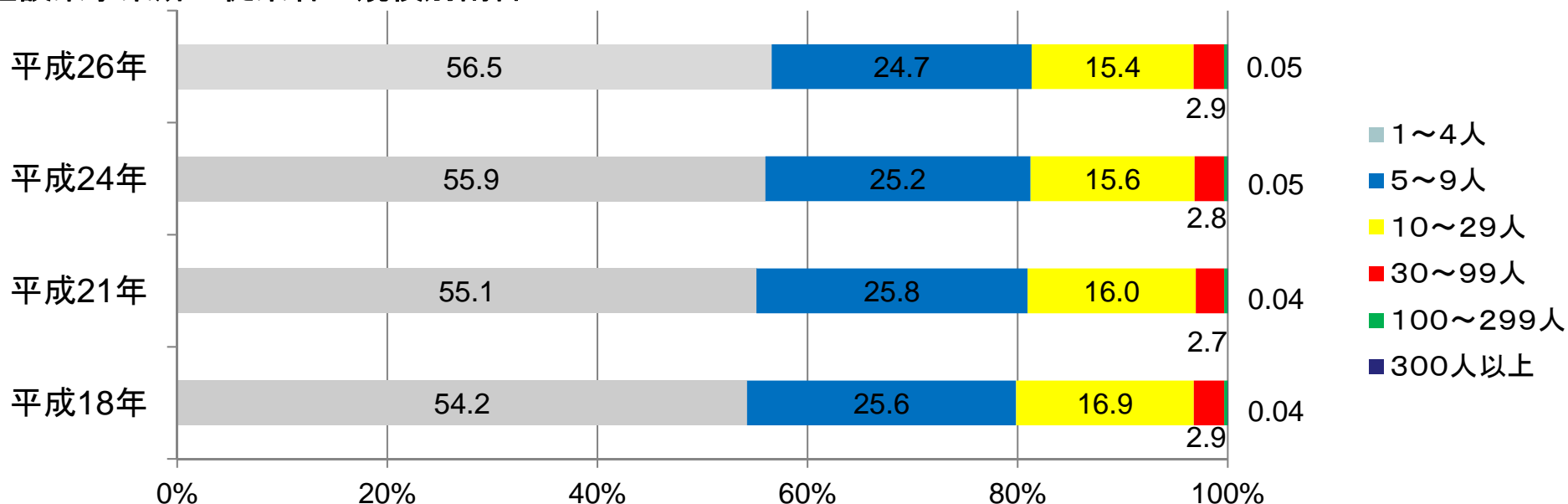


資料:総務省「労働力調査」

建設業事業所の従業者の規模別構成比等

建設業事業所では、従業者が5人未満が半数以上を占めており、ほとんどが300人未満の中小事業所。業種別従業者数では、総合工事業の従業者が約半数を占め、職別工事業が23%、設備工事業が30%。

■ 建設業事業所の従業者の規模別割合



資料:総務省「経済センサス」

■ 業種別従業者数

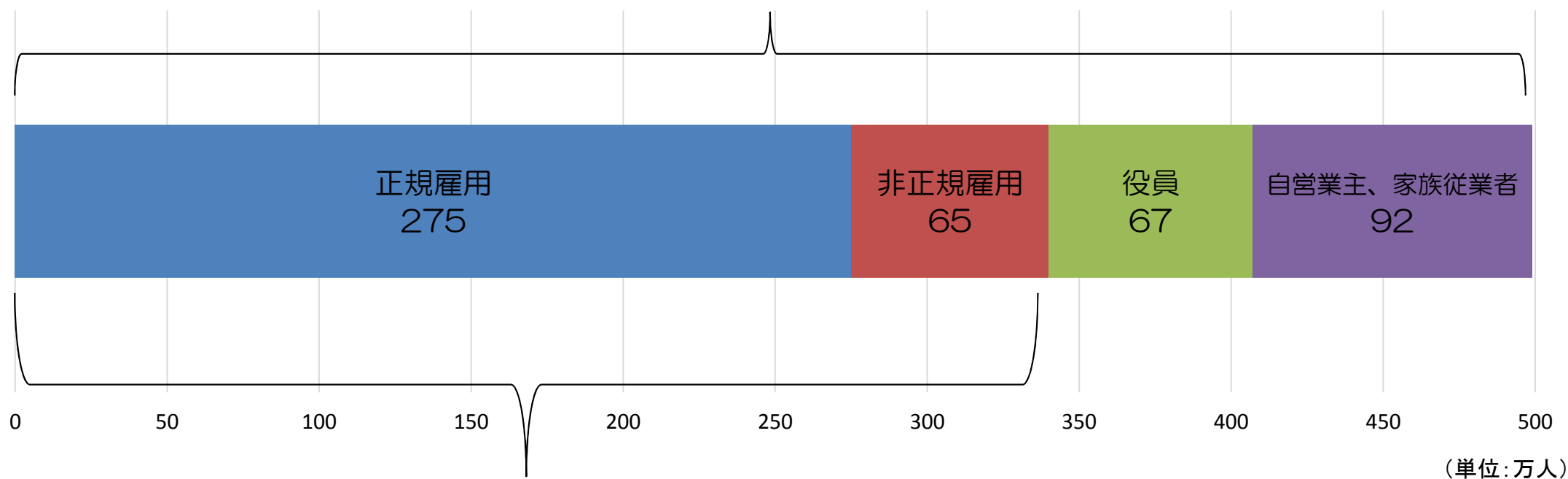
(単位:千人)

| 区分 | 合計 | 総合工事業 | | | 職別工事業 | | | | | | |
|-------|-------|-------|------|-----|-------|------|------|------|-----|----|-----|
| | | 土木工事 | 建築工事 | その他 | 大工工事 | とび土工 | 鉄骨鉄筋 | 左官工事 | その他 | | |
| 平成26年 | 3792 | 1805 | 695 | 463 | 646 | 867 | 78 | 168 | 69 | 50 | 502 |
| 区分 | 設備工事業 | | | | | | | | | | |
| | | 電気工事 | 管工事 | その他 | | | | | | | |
| 平成26年 | 1120 | 408 | 367 | 346 | | | | | | | |

資料:総務省「経済センサス」

建設業における雇用形態について

建設業就業者数: 500万人



雇用者(役員除く): 340万人

うち、正規雇用 : 275万人(81%)

非正規雇用: 65万人(19%)

※雇用形態については、「労働力調査」上、以下のように分類

正規雇用 : 正規の職員・従業員(一般的に、時期の定めのない、フルタイムの労働契約)

非正規雇用: パート(通常の正社員より短い労働時間)、アルバイト、契約社員(期間の定めがある労働契約)、嘱託社員等上記以外

(参考) 製造業における雇用形態

- ・正規雇用 73%(675万人)
- ・非正規雇用 27%(253万人)

※出所: 総務省「労働力調査」を元に国土交通省で作成